

みしま

今年一年
元氣でありますように

◎特集
除雪 皆さんとともに

(4ページから)

2009
1

広報みしま No.190

行政
文化財活用と光ケーブル整備を
町づくりの基盤として進めます

新年明けましておめでとうございます。穏やかな新春を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

世界的な金融恐慌により、国内でも雇用体系が崩れ、大変な状況にあるという報道が、昨年からずっと続いています。本町においては、ドアミラー製造で国内トップの業績を上げてきた三島エース(株)が、自動車産業低迷の影響を受けていると聞き、大変心配しております。

このような厳しい状況の中で、うれしいニュースもありました。三島小学校が、「よい菌の学校表彰」において十五年連続で優秀校となったことが評価され、最高賞の特別表彰を受賞しました。まさに、菌の健康づくりが学校の伝統となっています。誠にうれしい限りであります。

さて、町では財政再建を進めてきました。その中で、職員の数を減らしてきました。職員は、一人三役の

意気込みでがんばっております。財政状況については、町の貯金である基金を少しずつ増やすことができます。税収を伸ばすことは大変困難ですが、町民の皆様のご理解をいただきながら、節約と財源確保に努め、財政を維持していきたいと思えます。

私は、今年で任期二年目に入ります。公約として、経済、教育、福祉、財政の四つの柱を掲げてきました。そのために、今年は二つの事業を重点的に進めます。

一つは、文化財総合的把握モデル事業です。これは、「三島のサイの神」などの民俗行事を活かした地域づくりが国に認められ、全国二十箇所の一つに選ばれたものです。これを機会に、各集落でできることを見つけ、その目標に向かって取り組むことが肝要と考えております。もう一つは、光ケーブルの整備です。光ケーブル

は、高速通信網による産業基盤、高齢者の安否確認や老化予防、都市部と変わらない子どもの教育、災害情報の充実など、様々な分野に役立ちます。また、ケーブルテレビの導入による地上デジタル放送への対応も検討しています。この二つの事業を効果的に進めることで、経済、教育、福祉、財政の方策が見えてくると考えております。

昨年、NPO法人桐の応援団により、六百本の桐苗が植栽されました。この桐が花を咲かせれば、桐の里の美しい風景が広がります。もともと桐に深くかわり続け、世界一の価値を作り出していきたいと思えます。夢ではありません。実行するものです。

終わりに、町民の皆様が健康で、安全・安心な一年であることを願ひ、年頭の挨拶といたします。

三島町長

齋藤 茂樹



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、健康で希望に満ちた新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。議会を代表して、新年のご挨拶を申し上げます。

地球温暖化の影響により、年末以来雪の少ない冬を体験しておりますが、近年の地球環境は人類の予測し得ない変革や自然災害が突如として発生し、各地に大きな被害をもたらしております。幸いに、三島町はそのような災害に見舞われることなく新しい年を迎えることができましたが、今年も穏やかな年であることを祈念いたします。

昨年は、まさに地球規模での激動の年でありました。アメリカのサブプライムローンから始まった金融恐慌は、またたく間に世界中に広がり、

百年に一度といわれる経済危機に遭遇しております。新聞、テレビの報道でもご承知のとおり、我が国の経済不況は極めて深刻で、自動車産業のみならず多くの企業が影響を受け、社員のリストラや派遣社員の打ち切りを行うなど、雇用環境が著しく悪化しております。議会でも、この問題を深刻に受け止め、雇用の場の確保や、企業の誘致を図る政策の取り組みを、行政と一体となって推進しているところであります。

年末の情報によりますと、国の景気刺激対策のための予算を大型化した結果、十六兆円まで復活折衝ができたということであります。三島町は、地方交付税によって町の財政が維持

されておりますので、多くもらえるほど各種の事業にあてることができると思います。

平成二十一年度は、光ファイバー導入によるブロードバンドの整備、年中行事「サイの神」が国の重要無形民俗文化財に指定されたことに伴う「文化財総合的把握モデル事業」の推進、町自立計画の策定などを積極的に進めます。過疎山間地に燭光を照らすべく、町行政と一体となり推進してまい

る所存でありますので、一層のご指導とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

三島町議会議長

角田 伊一



◎特集

除雪 皆さんとともに

私たちの冬の生活は、雪のことをぬきにしては考えられません。特に心配なのが、車の運転です。道路は積雪や凍結によって滑りやすくなり、見通しも悪くなります。常に事故の心配がつきまといます。交通の安全確保のために、絶対に欠かせないこと。それが除雪です。

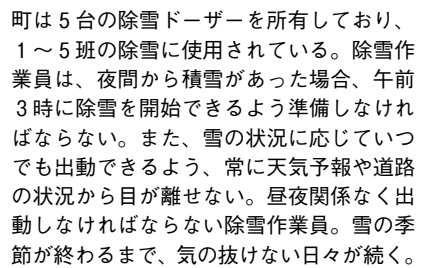
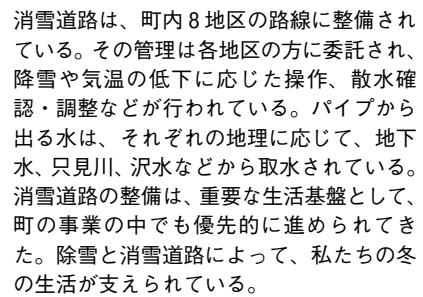
真夜中、私たちがまだ深い眠りについている時間帯に、除雪ドーザーは動き出します。除雪作業員は、雪が積もれば夜中でもすぐに出動しなければなりません。冬が終わるまで、気持ちが休まることのない仕事です。現在、8名の町除雪作業員と委託業者などが、町内の道路除雪

を行っています。

雪が降るのは、私たちにとっては当たり前。朝起きたら、道路がきれいに除雪されていることも当たり前…。本当にそうでしょうか。除雪作業員は、住民の皆さんの理解と協力を必要としています。考えてみましょう。除雪のこと。

8名の町除雪作業員
(左から)

矢澤	隆司さん(滝谷)
小柴	和浩さん(名入)
佐久間	金一さん(小山)
大竹	正和さん(滝谷)
二瓶	豊さん(大谷)
北村	作男さん(大登)
加藤	秀雄さん(松原)
秦	庄栄さん(大石田)



除雪作業を安全かつ円滑に行うため、下記の点についてご協力をお願いします。

- 夜間、早朝の除雪作業に支障のないようご協力ください。

路上駐車は、除雪作業の妨げになります
ので注意してください。

- 歩道の雪や屋根から落ちた雪は、協力して除雪してください。

歩道や私道の除雪は、各戸または隣近所で協力して行ってください。

- 道路上への落雪には特に注意しましょう。

道路上に落ちる危険のある屋根の雪には特に注意し、早めに雪下ろしをしたり、落雪注意の看板を立てるなど、通行人や車に被害のないよう配慮してください。

問 役場 産業建設課 建設係 TEL 48-5566

その体制

午前3時出勤
通勤・通学の

通勤・通学の交通を確保

十班体制で積雪に備え
安全第一で除雪を実施

町では、例年十二月中旬から三月中旬までの間、除雪体制をとっています。除雪作業は、町除雪作業員(四班八名)と委託除雪(六班、四業者・二地区)の十班体制で行われています。また、国道二五二号や、大谷・浅岐・間方方面、滝谷方面などは、県の管轄で除雪が行われています。

町の除雪隊結成式は、十二月十五日、町民センターで行われ、安全を第一に、住民に配慮した作業に心がけることなどが確認されました。

町除雪作業員は、原則十五センチ以上の積雪があつた時に出勤します。ただし、道路の状況にに応じて必要がある場合は、その都度除雪を行います。夜間から積雪があつた場合は午前三時に出勤し、通勤・通学、町営バスの運行などに支障のないよう、午前八時までに除雪を完了することを目標としています。

除雪ドーザーには、必ず運転手と助手の二名が乗り込み、周囲の安全を確認しながら作業を行っています。

除雪ドーザーは
積雪十五センチで出動

町除雪作業員は、原則十五時以上の積雪があつた時に出勤します。ただし、道路の状況に応じて必要がある場合は、その都度除雪を行います。夜間から積雪があつた場合は午前三時に出勤し、通勤・通学、町営バスの運行などに支障のないよう、午前八時までに除雪を完了することを目標としています。

三島町の除雪体制

班	作業員・業者等				主な除雪箇所
1	秦北	村	庄作	栄男	大石田
2	小矢	柴澤	和隆	浩司	名入、西方
3	二大	瓶竹	正	豊和	大登、桑原、中平
4	加藤	藤久間	秀金	雄一	宮下、荒屋敷
5	滝谷建設工業(株)				川井、西方、桧原
6	佐久間建設工業(株)				早戸、滝原
7	佐藤モータース				荒屋敷
8	滝谷	区長			滝谷
9	西方	区長			西方
10	板橋モーター				宮下病院～福祉センターの歩道

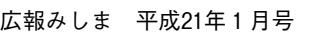
■ 1～4班 町除雪作業員

■ 5～10班 委託除雪

三島町の除雪路線図

——町管轄の除雪区間

—— 県管轄の除雪区間
又は消雪道路





特集 除雪 皆さんとともに

三年前、記録的な大雪により全国各地で被害が発生した「平成十八年豪雪」。この年、三島町でも雪のやり場がなくなり、特に高齢者世帯で除雪が困難となりました。八団体、延べ二百四十七名のボランティアの方々が、町内の除雪作業にご協力くださいました。この経験で、ひとたび自然が猛威を振るえば、自分たちだけでは乗り越えられないほど、地域の高齢化や人口減少が進んでいることを実感しました。

雪が降ることは、私たちにとっては当たり前です。しかし、大雪の朝、道路がきれいに除雪されていることは、当たり前前とはいえません。皆さんが眠っている時、除雪作業員が必死で雪に立ち向かっています。もちろんそれが彼らの任務ですが、皆さんの少しの理解と少しの協力があれば、除雪作業員はとて勇気付けられ、よりよい除雪が実現できるのではないのでしょうか。

大雪によって、倒木などの被害が発生することもあります。県や町では、交通を確保するために、いち早く倒木を処理しなければなりません。立木所有者の方々には、自己責任の意識を持っていただき、倒木処理に対してご理解をお願いします。

住民の皆さんと、町、県が気持ちを一つにし、隣近所でも支えあいながら、冬の暮らしを守っていきましょう。

◎特集「除雪」終わり

気持ちを一つにして
高齢社会を大雪から守ろう

Interview

皆さんのための除雪 お互い様なのでご理解を

町除雪作業員（除雪ドーザー運転手）

小柴 和浩さん

こしば かずひろ 名入

除雪は安全第一です。車を運転している時に除雪ドーザーが来た時は徐行し、作業員の誘導に従ってください。除雪の現場では、個人の畑などに雪を押し出さなければなりません。そうしなければ、住民の皆さんの交通を確保することはできません。お互い様なのでご理解をお願いします。早くてきれいな除雪に努め、皆さんの生活に支障のないように頑張ります。



除雪 最前線の声



皆さんとともに よりよい除雪を実現したい

町除雪作業員（除雪ドーザー運転手）

加藤 秀雄さん

かとう ひでお 検原

除雪した後に、道路に雪を出されるのが一番困ります。道幅が狭くなり、町営バスなどの運行にも支障が出てしまいます。桑原の皆さんは道路に雪を出さず、とても協力的なので大変ありがたいです。除雪には、住民の皆さんの協力が欠かせません。私たちも、朝の時間帯に除雪を完了できるよう必死でやっています。住民の皆さんとともに、よりよい除雪を実現したいです。

Interview

三島町除雪対策支援部隊をご活用ください

雪下ろしや家の周りの雪かたしなどでお困りの方は、「除雪対策支援部隊」にお任せください。なお、急なお申し込みの場合は2、3日お待ちいただくこともあります。できるだけ早めにお申し込みください。

- 要援護世帯** 社会福祉協議会が要援護世帯と認めた世帯（一人暮らし高齢者、高齢者世帯、母子・身障世帯）
■作業料金 1人1時間 2,000円
申込 社会福祉協議会 Tel 52-3344（又は各地区の民生・児童委員へ）
- 一般世帯** 要援護世帯以外の世帯
■作業料金 1人1時間 2,500円
申込 下記へ直接お申し込みください。

※重機等を使用した場合は別料金となりますので、担当者にご確認ください。

三島町除雪対策支援部隊

業 者 名	電話番号	緊急時の電話番号	担当者名
滝谷建設工業(株)	52-3131	52-2251	板 橋 充 是
佐久間建設工業(株)	52-3111	52-2138 090-8923-2771	佐久間 秀 夫
(有)みしま農産	48-5616	52-3437	五十嵐 忠 義
地域プランニング	52-2799 080-1822-1581	52-2799 080-1822-1581	五十嵐 馨
羽賀建設工業(株)	52-2214	52-2300 090-3128-9431	若 林 新 一
丸 優 建 築 (有)	52-2888 52-3972	52-2888 080-1801-8628	阿 部 優
(有)小柴板金工業所	52-2465 090-7064-2232	52-2465 090-7064-2232	小 柴 喜美雄
スノーファイター (北村畳店)	090-7069-0606 52-2140	090-7069-0606 52-2140	北 村 作 男

☎ 役場 総務課 総務係 Tel 48-5511

愛情を持って桐を育てよう

会津桐現地検討会



会津桐現地検討会（旧山都町）

三島町・柳津町・金山町・西会津町・喜多方市（旧山都町・旧高郷村）及び関係機関で構成されている会津桐振興連絡協議会は、十二月十日、喜多方市山都と三島町を会場として「会津桐現地検討会」を開催しました。この連絡協議会は、会津桐の栽培技術の向上、桐材需要の拡大促進、会津桐産業の健全な発展を目的として活動しています。

今回の現地検討会では、喜多方市山都の高橋光意氏と三島町川井の森田秀男氏が所有する会津桐優良木、三島町川井の森田晋一氏が管理する桐苗ほ場の現地視察を行い、栽培管理について意見交換を行いました。その後、町民センターに場所を移して、福島県林業研究センター専門研究員の長谷川孝則氏が、今年度三島町で行った会津桐についての試験研究の経過を報告し、参加者で意見交換を行いました。

検討会では次のような意見が出ました。

- ・桐を振興するには、苗栽培の試験地を設置して、苗の供給体制を整備することが必要。
- ・栽培技術向上のため、定期的に現地研修会や桐ドクターの巡回指導を行うことが必要。
- ・行政は、桐の良いところを、生産者や消費者、観光客にPRしてほしい。
- ・桐の価格が上げれば生産者も植栽する。全国

的に桐を植栽しているのは会津だけ。今後とも植栽を継続することで希少価値が上がってくる。また、二酸化炭素吸収量が優れているなど、別の価値も出てきている。

最後に、副会長の貝沼静男氏（喜多方市高郷）が「愛情を持って桐を育てましょう。」という言葉で閉会しました。

暮らしと文化について話し合う

区長・分館長会議



区長・分館長会議

文化を活かした町づくりを進めるための区長・分館長会議が、十一月二十八日、町民センターで行われました。これは、町が国の指定を受けて進めている「文化財総合的把握モデル事業」の一環として行われたものです。会議では、「サイの神」などの年中行事を保存・継承・活用していくうえでの課題や、集落そのものの課題などが話し合われました。少子高齢化により行事の継続が困

難な状況にある中で、どのようにして活用していくのかが大きなテーマとなっています。また、早戸、宮下、西方地区で実施されている地域コミュニティ再生事業などについても紹介されました。今後、各地区において「地区の暮らしと文化を話し合う会（仮称）」の開催を予定しています。これにより、地区住民の皆さんと共に、地区が抱える課題の解決策や、文化を活かした地区づくり

について話し合っていくたいと考えています。また、第三回三島町歴史文化基本構想等策定委員会が、十二月十九日、町民センターで開催されました。今回は、前回までの内容を踏まえ、地域住民を主人公として、三島町の文化を保存・継承・活用する仕組みづくりを進めていくための基本方針が確認されました。その方針には、ふるさと運動や地区プライド運動など、三島町が進め

てきた地域づくりを土台として地域資源を活かしていくことや、地域の維持・再生のために役立つことと観光の振興に役立つことの両面から見た仕組みを作ることなどが盛り込まれました。

この策定委員会は一般公開ですので、誰でも会場で聞くことができます。次回は、一月十五日午後二時から、町民センターで開催されます。



ZOOM IN MISHIMA

ズームイン みしま



おはぎやこづゆなどの「おばあちゃんの味」

昔ながらの味を子どもたちへ

食文化を伝える「おばあちゃんの味」

子どもたちに地域で受け継がれてきた家庭料理の味を伝える「おばあちゃんの味」が、12月12日、町民センターで行われました。老人クラブ女性部の皆さんが先生となり、三島小5年生が、おはぎや煮物、こづゆなどの料理を体験しました。この行事は昭和60年に始まり、今年で24年目。世代を超えて交流しながら、地域の食文化のよさを伝え、子どもの食生活を見直す機会となっています。



オペラの歌声を披露する酒井さんと佐藤さん

学生オペラの歌声に感動

山形大学オペラサークルYCM

山形大学の学生オペラサークルYCMによるオペラの公演が、12月9日、町民センターで行われ、三島中の生徒などが鑑賞しました。出演は、山形大学地域教育文化学部文化創造学科音楽芸術コース4年に在籍する酒井美穂さん（歌）、佐藤麻里絵さん（歌）、氏家智美さん（ピアノ）の3人。舞台監督は、いちょう舞台代表の豊島一郎さん。情感あふれる歌劇のほか、「崖の上のポニョ」「ハナミズキ」など最近のヒット曲がオペラの歌声で披露されました。

主催/NPOオール・三島町教育委員会



老人クラブ女性部の方々に習って、三島小5年生が料理を体験した。



サンタクロースからプレゼントをもらった子どもたち

サンタクロースがやってきた！

商工会青年部が子どもたちへプレゼント

サンタクロースが子どもたちにプレゼントを配りました。サンタクロースに変装したのは、三島町商工会青年部の皆さん。12月22日の夜、三島保育所に通う子どもたちの家々を訪れ、お菓子のプレゼントを手渡しました。子どもたちは、突然のサンタクロースの訪問に大喜び。このクリスマスプレゼントは、三島町商工会青年部が、町民ゴルフ大会のチャリティー金を用い、子どもたちの健やかな成長を願って毎年行っているものです。

福島県只見川ライン 冬の奥会津を満喫する旅

奥会津自然体験ツアー

冬のメモリー てんこもりー

2月13日(金)～15日(日)

ツアー日程

2月13日(金)13:00	集合（柳津町役場駐車場） 金山町へ 和ろうそく作り 所要時間/約3時間 金山町 恵比寿屋旅館 泊
2月14日(土)10:00	只見町へ ふるさとの雪まつり スノーモービル体験 スノーシュー体験 (希望者のみ) JR只見線で三島町へ 15:00 早戸温泉つるの湯入浴 語り部（昔話） 18:00 雪と火のまつり 柳津町 清流の宿かわち 泊
2月15日(日)9:00	福満虚空蔵尊圓蔵寺 齋藤清美術館 そば打ち体験 11:00 14:00 解散

- 参加料 〈大人〉25,200円 ※2泊3日食事付き
〈子供〉17,200円 ※傷害保険料込み
※小学生以下子供料金
- 募 集 10組（約30名）

ご注意 ①現地までの交通費は自己負担となります。
②自家用車でお越しの方は現地集合となります。
③電車・バスでお越しの方は会津若松からの無料送迎をご利用ください。



ツアーを企画した三島町商工会
青年部の皆さん

お問い合わせ
お申し込みは
三島町商工会
Tel 52-2430

主催/只見川ライン商工会青年部
後援/福島県商工会連合会・三島町・柳津町・金山町・昭和村・只見町・只見川ライン観光協会

若手後継者等育成事業費補助事業（農山村体験交流プロジェクト事業）

連 載

心ある医療

福島県立宮下病院からの情報コーナー



福島県立宮下病院 院長
板橋 邦宏 先生

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

私が、昭和60年郷里の宮下病院に院長として着任して以来24年間、当院はまさしく地域の方々の御支援、関係各位の御努力により存続、充実してまいりました。改めて感謝申し上げます。病院はもちろんですが、院長として私が居続けられるのも皆様のお許しを得てと勝手に解釈しております。

ある日、100歳を迎えんとしていた高倉のミドリさんが、「クニヒロ、大きくなったなあ、ダッコしてみっか。」と、両手を広げ涙を流しながら言ってくれました。私もうれしくて涙が出ました。ミドリさんにとって年端もいかない私が、突然大きくなって目の前に現れたと思われたのでしょうか。或いは、私が幼い頃の姿に重ね合わせて、昭和20年代後半から昭和30年代前半の、「今日よりも明日はきっとすばらしい日がやってくる」と誰もが信じることを疑わなかった頃を思い出されたのかもしれませんが。大分やんちゃな私でしたが、こんな大人達にやさしく見守られ、ずっと支えられてきたんですね。「今は医者として自信をもっているんだよ」と、ミドリさんは言ってくれたような気がします。

歳を重ね、世相の激しい変化のせいか、近頃、時が過ぎゆくのが早く感じられます。何とはなしに過ごしてしまうにはあまりにももったいない。一日一日この時を大切に今年も生きて行きたいものです。今年もよろしくね、皆さん。

☎ 宮下病院事務部 Tel 52-2321

国民健康保険税・後期高齢者（長寿）医療保険料のお支払いについて

来年度から、保険税・保険料のお支払いは 「年金からのお支払い」と「口座振替」から選択できます

現在、国民健康保険税及び後期高齢者（長寿）医療保険料を、年金からお支払いされている方について、来年度から年金からのお支払いと口座振替のどちらかを選択できるようになります。

国民健康保険税

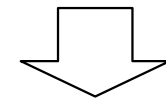
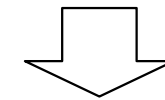
今までは、下記のような方が口座振替で支払うことができました。

- 過去2年間、国民健康保険税の納め忘れがなかった方が、口座振替とする場合

後期高齢者（長寿）医療保険料

今までは、下記のような方が口座振替で支払うことができました。

- 過去2年間、国民健康保険税の納め忘れがなかった方ご本人が口座振替で支払う場合
- 世帯主・配偶者が、ご本人（年金収入が180万円未満の方）に代わって口座振替で支払う場合



今後は、上記のような限定がなくなります。

※ただし、他税目も含めこれまでの納付状況等から、口座振替への変更が認められない場合があります。

来年度から保険税・保険料の口座振替を希望される方は 2月6日(金)までに役場町民課へお申し出ください

平成21年4月分から、年金からのお支払いを中止し、口座振替によりお支払いいただくようになります。保険税・保険料の総額は変わりません。上記の期限を過ぎてお申し出いただいた場合は、6月分以降から口座振替となります。

※お申し出に際して、金融機関への口座振替依頼書の提出が必要となります。取り扱う金融機関は、会津信用金庫宮下支店、JA会津みどり三島総合支店、郵便局です。それ以外の金融機関では取り扱っておりませんのでご注意ください。
※お申し出が無い場合は、引き続き年金からのお支払いとなります。

国民健康保険税について

☎ 役場 町民課 町民生活係 Tel 48-5555

後期高齢者（長寿）医療保険料について

☎ 役場 町民課 保健福祉係 Tel 48-5565

町の税金などを、納税組合以外で直接納められている方には、
納め忘れをなくすためにも口座振替をお勧めします。

これからの行事予定 town schedule

- 1月11日(日)
13:00～ 奥会津案内人講座モニターツアー
(12日まで 森の校舎カタクリ)
- 1月13日(火)
13:30～ 三島小だんごさし(三島小)
- 1月14日(水)
10:00～ 三島保育所・ワンダークラブだんごさし(三島保育所)
- 1月15日(木)
14:00～ 第4回三島町歴史文化基本構想等策定委員会
(町民センター)
- 1月16日(金)町民センター
10:00～ 会津桐を活用した町づくりセミナー
13:30～ 講演会「地域コンシェルジュという仕事」
- 1月23日(金)
10:00～ Y Y サークル(柳津町ふれあい館)
10:00～ ワンダークラブ(三島保育所)
- 1月25日(日)
10:00～ 文化財防火デーにかかる防火訓練(桑原地区)
- 1月29日(木)
10:00～ 子育てサークル「カタクリデビュー」(森の校舎カタクリ)
13:30～ 保健推進員研修会(町民センター)
- 1月30日(金)
11:00～ 交通安全合同祈願祭(三島神社)
- 2月3日(火)
10:00～ ワンダークラブ(三島保育所)
- 2月5日(木)
13:30～ 民生児童委員協議会定例会(福寿草)

《社会福祉協議会より》
生きがいデイサービス「サロン事業」の予定

桧原はつづクラブ

1月20日(火) 10:00～ 桧原多目的集会所

高清水・小山いきいきサロン

1月27日(火) 10:00～ 高清水集会所

小正月行事

1月14日(桧原・滝谷地区)

鳥 追 い

1月15日(各地区)

サイの神

※「三島のサイの神」は、昨年3月に国の重要無形民俗文化財に指定されています。



みんなで健康づくり《教室・健診の予定》
☎ 役場 町民課 保健福祉係 Tel 48-5565

4ヶ月児健診
1月13日(火)11:15～ 坂下厚生総合病院

からだ元気運動教室
1月13日(火)13:30～ 町民センター

フォローアップ教室
1月19日(月) 9:30～ 町民センター

3歳児健診
1月21日(水)13:00～ 柳津町 銀山荘

足腰げんき教室
○水中運動編
1月22日(木)13:00～ 町民センター集合
河東学園プール

○室内運動編
2月5日(木)13:30～ 町民センター

スッキリサラサラ教室
1月26日(月)13:00～ 町民センター

機能訓練会
1月28日(水)13:30～ 福寿草

心の健康相談
2月3日(火)13:30～ 福寿草



ご寄付ありがとうございました

ふるさと納税として

小 島 健 一 様 (埼玉県春日部市)
丹 野 光 明 様 (東京都世田谷区)

社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

長 郷 善 一 様 (間 方)
渡 部 彦 一 様 (大石田)
中 山 勲 様 (桧 原)
五十嵐 正 様 (大 谷)

歴史を守ろう
文化財防火デー 1月26日

会津坂下消防署 三島出張所

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に奈良県の法隆寺金堂で火災が発生し、国宝十二面壁画の大半を焼失してしまったことをきっかけに定められました。

三島町にも重要な文化財がたくさんあります。それらのほとんどが木造のため、いったん火がつくとすべて失われてしまいます。祖先から受け継がれてきた大切な宝である文化財を、火災から守りましょう。

☎ 会津坂下消防署 三島出張所
Tel 52-3032



会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では11月中、野荒し1件が発生しました。管内では、振り込め詐欺の被害がまだまだ増加傾向にあり、最近では「定額給付金」を装った新たな詐欺の発生が予想されています。「定額給付金」という言葉を使い、ATMからお金を振り込ませたり、銀行口座などの個人情報を聞いてくるような電話には十分注意してください。不審な電話がかかってきたら、すぐに警察署に通報してください。

街頭犯罪等発生状況(1～11月)

区 分	管 内	三島町
空き巣ねらい	1	1
忍 込 み		
事 務 所 荒 し	3	
出 店 荒 し		
自 動 車 盗	3	
オートバイ盗		
自 転 車 盗	8	
自販機ねらい	6	
車 上 ね ら い	5	1
強制わいせつ		
街 頭 犯 罪 計	26	2
全 刑 法 犯	120	7

※全刑法犯には、街頭犯罪以外(器物損壊・傷害・万引き等)の犯罪発生件数が含まれます。

火災予防
年末年始特別警戒実施
12月15日～1月15日

会津坂下消防署 三島出張所

暖房器具の使用が多くなる時期です。次のことに注意して火災を防ぎましょう。

1. 暖房器具の上には洗濯物を干さない。
2. 暖房器具の周りには燃えやすい物を置かない。
3. 点火したまま動かしたり給油したりしない。
4. タコ足配線をしない。

※住宅火災から命を守るために、
住宅用火災警報器を設置しましょう。

☎ 会津坂下消防署 三島出張所
Tel 52-3032

国民年金基金
制度のご案内

福島県国民年金基金

国民年金基金は、自営業や農業などの方が加入する国民年金の上乗せ年金制度です。20歳以上60歳未満の方が加入できます。ただし、次の方は加入できません。

- ・厚生年金や共済年金に加入している方や、その被扶養配偶者の方
- ・国民年金保険料の納付を免除されている方
- ・農業者年金に加入している方

毎月の掛金額や将来の年金額は、年齢、性別、加入する年金の種類、口数によって決まります。年金の種類は、終身年金を基本に自由に選ぶことができます。

毎月の掛金は、全額「社会保険料控除」の対象になります。受け取る年金も、「公的年金等控除」の対象になります。

☎ 福島県国民年金基金
Tel 0120-65-4192

今月の納税

○町県民税(普通徴収)
第4期

※納期限は2月2日(月)です。
☎ 役場 町民課 町民生活係
Tel 48-5555

三島町灯油購入費助成事業
実施のお知らせ

役場 町民課 保健福祉係

町では福祉の増進を目的に、今年度も三島町灯油購入費助成事業を行います。下記の事項に該当する世帯を対象に、一世帯あたり7,000円を助成するものです。助成の方法は、各地区の民生・児童委員が1月中旬から対象世帯にお伺いし、助成金をお届けいたします。民生・児童委員がお伺いした際には、受領印を押し、灯油購入先をお伝えください。

●助成対象世帯

三島町に居住し、町民税非課税世帯で、次のいずれかに該当する世帯が対象となります。基準日は、平成20年12月1日です。

- ①. 65歳以上の方のみの世帯
- ②. 18歳未満の児童を扶養している母子世帯または父子世帯
- ③. ①の世帯に18歳未満の児童または障害者が含まれる世帯
- ④. 障害者のみの世帯
(対象となる障害者は、心身障害者医療費給付対象者で、主に身体障害者手帳1・2級の方です。)
- ⑤. 生活が著しく困難と認められる世帯

●助成対象とならない世帯

介護保険等の施設入所者、三島町高齢者福祉センター入居者、長期入院者、長期不在者は助成の対象外となります。

☎ 役場 町民課 保健福祉係
Tel 48-5565

三島町老人クラブ連合会
「健康づくり事業」の予定

スポーツ民踊教室

1月19日(月) 1月27日(火)
2月2日(月) 2月9日(月)
○場所 町民センター
○時間 13:30～

公式輪投げ教室

1月21日(水) 1月28日(水)
2月4日(水)
○場所 町民センター
○時間 13:30～

健康増進のための料理教室

1月29日(木) 9:30～ 滝谷集会所
※これらの行事には、老人クラブ会員でなくても満60歳以上の方なら誰でも参加できます。

JR只見線に残る 昔ながらの運行方式

へいそく タブレット閉塞

タブレットとは、鉄道の通行手形として使われる円盤のことです。これを用いて一定区間を運行し、衝突事故を防ぐ方式を「タブレット閉塞」といい、今では大変珍しいものとなっています。JR只見線では、西若松駅と只見駅の間でタブレット閉塞が行われており、西若松駅、会津坂下駅、会津宮下駅、会津川口駅、只見駅にタブレット閉塞機が設置されています。それらの駅を列車が出発する際に、駅員と運転士との間で、輪の形をしたキャリアに入れられたタブレットが交換されます。

地域をつなぐ唯一の公共交通機関として、また四季折々の美しい風景が楽しめる観光列車として運行されているJR只見線ですが、その経営は大きな赤字です。経費の削減を考えれば、駅員が必要なタブレット閉塞は廃止されてもおかしくありません。しかし、駅員がタブレットを交換する昔ながらの光景を見て、何か懐かしさ、あたたかい気持ちになる人も多いのではないのでしょうか。

希少な価値のあるJR只見線のタブレット閉塞。地域の宝物の一つです。



円盤状のタブレットと、それを入れて運ぶためのキャリア



駅員と運転士との間で交換される
タブレット（会津宮下駅）

タブレット閉塞とは、各駅に設置されているタブレット閉塞機からタブレットを取り出し、通行手形として使用する方式である。一定の区間において、一方の駅でタブレットを取り出すと、もう一方の駅ではタブレットを取り出すことができない。すなわち、1つの区間でタブレットは1つしか出すことができない。タブレットを持っていない列車は出発できないので、衝突事故を防ぐことができる。



会津宮下駅のタブレット
閉塞機

人口と世帯 12月1日現在（住民基本台帳）

人口	2,152人（-2）	11月中の	出生0人
（男）	1,014人（±0）	人の動き	死亡1人
（女）	1,138人（-2）		転入1人
世帯数	863世帯（±0）		転出2人

広報 みしま 1月号 No.190

発行日 平成21年1月9日
編集 三島町役場 総務課 企画財政係
福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下350
Tel 0241-48-5515
ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>
印刷 株式会社アポロ

みしま 編集後記

12月5日、JTB常務取締役の清水慎一氏が町民センターで講演されました。清水氏は、以前JR東日本仙台支社長を務められ、只見線でのSL運行の実現にご尽力された方です。講演の中で、只見線に残るタブレット閉塞について話されました。駅員が持っているあの輪のようなものが何なのかさえ、今まで知りませんでした。会津宮下駅に取材に行くと、五十嵐敏駅長が快く応じてくださいました。赤色のタブレット閉塞機や、使い古されたキャリアは、希少な価値を感じさせます。熱心な鉄道ファンの気持ちが、少し分かったような気がしました。いつまでも残っていてほしいと願います。